

八日堂 信濃国分寺  
本尊秘仏 薬師如来

お かい ちょう  
**御開帳**

十二年に一度の盛儀  
4月29日～5月6日

信濃国分寺は聖武天皇の勅願によって創建されて以来、1280年にわたり国土安泰と万民和楽を祈願する一国一寺の道場として、また信濃の精神文化の象徴として、現在に至るまで法灯が伝承されています。

本年は十二年に一度の御開帳の年にあたります。4月29日から5月6日の日程で御開帳を開催いたしますので、お参りいただきますようご案内申し上げます(裏面参照)

やくしるりこうにょらい  
【本尊 薬師瑠璃光如来】

信濃国分寺の薬師像は座高1,7mほどの大きな座像で左手に薬壺(やっこくすりつぼ)を持っており現世を護る仏と言われます。奈良時代の行基作とされますが、これは伝承でしょう。実際には現在の地に寺域が移り「八日堂」という市が発達し、それまでの官寺的性格から地域民衆の寺として親しまれるようになった室町中期以降の作と考えられます。

創建当初の国分寺は、釈迦三尊を金堂に安置するというのが国の構想でした。しかし平安期以降の薬師信仰の隆盛に影響され早い時期から薬師如来に替わったようです。現存の各地の国分寺の本尊も多くが薬師如来です。

十二年に一度というのは十二支や薬師如来が衆生を救うための十二大願によるのでしょう。

巳年開催は奈良時代に聖武天皇の国分寺建立の勅願が発せられた天平13年(741)が巳年にあたるのでそれに困んだと考えられますが、必ずしも巳年に行われてはいません。また実際に何時から始まったかも不明です。おそらく江戸時代になって、現本堂の前の本堂の頃から始まったのではないのでしょうか。



またお会いしましたね

お薬師さま



智慧の団子まき



中日法要



地元の神楽奉納



稚児たち



甘茶供養



御開帳限定御朱印



三重塔内陣公開

## 御開帳 4月29日～5月6日 行事日程

※天候の状況などで時間・場所が変わる場合もございます

### 4月29日(火) 開闢法要(初日法要)

- ・地元の土沢神楽奉納(9:30・本堂前)
- ・開帳柱回向(10:00・開帳柱前)
- ・開帳開闢法要(10:15・本堂内)
- ・大般若転読法要(10:30・本堂内)
- ・智慧の団子まき(11:30・本堂東境内)

### 4月30日(水)

- ・長野医療衛生専門学校 音楽療法士学科 コンサート  
(15:30・本堂内・先着50名様に粗品贈呈)

### 5月3日(土) 中日法要

- ・練供養・稚児行列(10:00・仁王門出発)
- ・花祭(甘茶供養)(10:30・本堂前)
- ・中日大法要(10:30・本堂内)

### 5月4日(日)

※稚児行列予備日

- ・岩手県白澤鹿子踊奉納(13:30・本堂前)
- ・落語会(出演:三遊亭遊子・春風亭昇咲)  
(15:00・本堂手前の客殿・先着50名様に粗品贈呈)

### 5月6日(火) 結願法要(最終日法要)

- ・地元の土青木神楽奉納(15:00・本堂前)
- ・護摩法要(16:00・本堂内)

【本尊の開帳: 毎日10:00～17:00】

【日本遺産の三重塔の内陣公開: 毎日9:00～17:00】

【御開帳限定 特別御朱印を用意しました(書置き)】

◆御開帳記念特別展「中世の信仰遺産と蘇民将来」  
(信濃国分寺資料館にて: 6月8日まで開催中)

八日堂信濃国分寺 TEL 0268-24-1388



落語会



白澤鹿子踊奉納



音楽療法コンサート



練供養